

野 観光・体験・お食事

入場料 おとな **500円** / こども **250円**
 こどもは4~12才までとし3才以下は無料、1日有効、再入場可。

セット割引 入場料と竹器で御抹茶 おとな **1,000円** / こども **800円**
 ※竹器で御抹茶は土日祝日のみのご提供となります。
 ラストオーダーは営業終了時刻の1時間前となります。

★印の体験には、上記入場料が必要です。

野掛け(竹林散策)

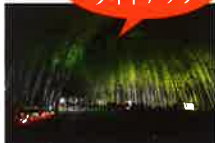
●**昼の竹林散策**…入場料のみ

※竹林散策ガイドをおつけできます。
 1グループ50名までとして5,000円 所要時間約1時間。

★●**夜の竹林散策**…おとな **500円** / こども **250円**

※上記入場料の他にライトアップ・竹灯りの設置費、提灯貸出料として、
 ※夜間ライトアップは土日祝日のみのご提供となります。
 点灯は日没からとなり、終了時刻は季節により変動します。

夜間：竹灯り
 ライトアップ



野良仕事(収穫体験)

★●**筍狩り**(4~5月)……掘った分を後精算1kg当たり **1,000円** (G.W.から1kg当たり500円)

★●**ベリー摘み**(7~8月)……1バック(200g)とご試食付き **500円** (追加100g当たり200円)

★●**栗拾い**(9~10月)……お一人様1箱(約1kg)限定 **1,500円**

※全て道具、入れ物などはご用意しています。
 多少汚れても良い格好でお越し下さい。軍手は有料です。



野遊び(各種体験)

★●**竹林でハンモック**…竹林でのんびりハンモック1時間当たり **500円**

●**竹工作**……弓矢、水鉄砲、竹楽器、竹灯籠、竹籠等 **500円**~

★●**竹の遊具**……竹のブランコ、アスレチック、迷路等 coming soon

●**着物着付け**……古布を仕立て直した着物を着て竹林で記念写真 **10,000円**

(入場料、竹器で御抹茶含む)
 (+2,500円~で着物と帯を買い取り可)
 提供：きものHAUS

要予約

野点(お食事)

★●**竹器で御抹茶**……竹器お持ち帰り、お茶請け付き、**750円**

●**季節の軽食**……焼き筍・ベリー・焼き栗等 **500円**

●**竹林でお食事**……竹林の中でゆっくりとお食事会

(入場料、席料、竹器、道具を含む)

お弁当 **2,500円**

BBQ **5,000円**

お料理 **7,500円**~

※お食事は全て外注となりますので、必ず事前にお問い合わせください。



野宿(ご宿泊)

●**ハンモックスタイルキャンプ**… coming soon

※上記全て消費税を含みます。料金につきましては予告なく変更になる場合がございます。
 ※気候・天候等により内容・営業期間が変更になることもございます。必ず事前にご確認ください。
 ※旅行会社様ご手配による団体旅行に割引がございます。お気軽にお問い合わせ下さい。

農 自然循環型栽培による農産物と加工品

採れたて農産物と自家製加工品を販売しています。

竹 竹材・竹製品・植栽用竹苗の販売

伝統・現代風の竹製品、都心やお庭を彩る竹の植栽など

他 撮影・イベント等ロケーションの貸出

昼・夜共に色々な利用シーンに占有して頂けます。



筍のための土づくりをつづけて100年余。
 見上げると見わたすかぎりの竹林があった。
 その竹はどれもがみな美しい若竹色であり
 その広がりもう竹林ではなく杜である。

若竹の杜

Four Seasons Bamboo Forest

若山農場

WAKAYAMA FARM Inc.

若竹の杜 若山農場

株式会社ワカヤマファーム
 〒320-0075 栃木県宇都宮市家本町2018
 Tel.028-665-1417 Fax.028-665-4428
<http://www.wakayamafarm.com>

Email
info.wakayamafarm@gmail.com

■営業時間
 平日…9:00~17:00

土日祝
 春…9:00~20:00(3.4.5月)
 夏…9:00~21:00(6.7.8月)
 秋…9:00~20:00(9.10.11月)
 冬…9:00~19:00(12.1.2月)

■お車でお越しの方
 東北自動車道・日光道・宇都宮インターチェンジ下車、宇都宮市内方面へ、約5分。都心からおよそ1時間30分。

■公共交通機関でお越しの方
 JR宇都宮駅より約9km。関東バス52・56・58系統「野沢寺前」下車(約30分)+徒歩700m(約10分)。タクシー利用で約20分。



若竹の杜 若山農場の歴史

江戸初期寛文10年の宝木台地新田開発事業に伴い不毛の地であったこの地に入植し以来十数代に渡り営々として耕し続け其の礎を築き今日の大をなす。—若山家墓誌より

若山家は、江戸初期寛文10年(1670年)に不毛の地であったこの地に移住し、24畝の圃場を代々開拓し続け今日に至ります。しかし、当時この地には水がなく日本人の主食である米を作る事が出来なかったため大変苦労をしたと聞いています。そのような環境の中で他作物の栽培に積極的に取り組み工夫することを惜しみませんでした。



今日の礎となる竹と栗の栽培に至るのは3代前の当主である善三によります。善三は農家としては当時珍しく旧制中学校へと進学し、近代農業について学びます。戦後それを実践し竹と栗の栽培を全国に広めていきます。春の筍、秋の栗、冬には竹を切りそれがすべて利用された時代でした。特に近代的な栗栽培の第一人者として全国に名をはせました。

2代前当主である幸央は、竹に着目します。竹材の新利用のため特殊加工技術を開発し生産しますが、石油製品(プラスチックなど)の台頭により竹そのものの需要が激減してしまいます。一方、筍利用については順調で東京築地市場において一定の地位を確立し、また、その傍らで竹の開花に着目し竹の品種改良へと生涯取り組み続けていきました。

当代当主である太郎は、竹植栽へと着目します。日本の伝統文化を代表する竹林の風景をあえて近代的な都市空間の中へと推し進めます。これは近代建築空間の中に竹が映えることと、先代の品種改良により作り上げた小さな竹“ヒメアケボノモウソウチク”が狭い都市空間の中に合うからであり、今では多くの都市空間に竹の植栽が行われるようになりました。

昔は身近に竹を利用し手入れのされた竹林が多かった日本においても、時代の流れとともに竹の需要は少なくなり、そんな竹林の風景は希少となりました。しかし、当園ではそれを時代に合わせた工夫をし続け現存しています。そして、その風景を観光資源として解放し今日に至ります。

これから皆さんにご覧頂く見渡す限りに手入れのされた美しい竹林は、こうした歴史の積み重ねと日々たゆまぬ努力の成果なのです。どうぞゆっくりと御覧下さい。また、これからも進化し続ける若山農場をどうぞ楽しみにして下さい。

夢みる竹林



散策MAP



ケヤキの大木

ニレ科ケヤキ属の落葉高木。葉を逆さにしたような樹形が美しく秋の紅葉が美しい。



亀甲竹

孟宗竹の一種。節が交互に膨れて亀甲状となる特異な形状を持つ。



孟宗竹

日本の竹類の中では最大で高さ20m超す。葉が小さく色が薄いため抜ける緑陰が美しい。先端がたれるため、道の両側にあるとまるでトンネルのようなになる。



真竹

縄文時代の土器からも利用が見られる日本古来より自生していたまさに真の竹。細く裂け弾力性に富み曲げやすい事から竹細工・竹工芸などに利用されてきた。



限笹

笹類は竹の一種であり、竹の皮の残るものをいう。冬になると葉の緑に白い限取りのできる事が由来である。



金明孟宗竹

孟宗竹の一種。桿は黄金色で、緑色の縦縞が市松に入る。国の天然記念物に指定された場所もある貴重な品種。



西弁天沼

宇都宮市内を流れる釜川の源泉。日光中禅寺湖の水が伏流水となり地形が変わるこの地で湧き出している。



3本榎の木

ブナ科コナラ属の常緑高木。高さの割に太くならないのが特徴で秋にはドングリが実る。



宝木堀

二宮金次郎(尊徳)指導の下、地元有志により掘られた用水路。当時から変わらず護岸のされていない素掘りの貴重な場所。